

昭和39年 7月20日

編集発行
南 国 市 広 報 委 員 会

事 務 所
高 知 県 南 国 市 役 所 内
(電 2111)

印 刷 川 北 印 刷 株 式 会 社
(電 3151)

THE KŌHŌ NANKOKU

南 国 市 広 報



平 和

と

友 情



日中の平和と、国交回復を求めて
去る六月二十一日中国婦人代表団が
高知を訪ずれた。
高知空港へ元気に降りた代表
団一行七人は、空港ターミナル前に
あつまった人たち(約六百人)の歡
迎を受けた。
まず、地元池川市長の「二千年む

かしからの友達である中国との国交
を一日もはやく回復し、友好を深め
たい」旨の歓迎のことばと、花束を
贈った。同婦人団長から、「平和へ
の努力と、友情のきづなを深めよ
う」とのメッセージがあつて高知市
で開かれる平和集会の会議場へ向つ
た。

ことしの稲作はやや豊作型という
見込みがたてられ、米価の大幅引き
上げとともに、農家にとってうれし
い材料がかさなり、ニコリ笑いた
くなっていることだろう。作付時の
悪い活着に苦労したこととほうって
変った成育振りにホッと胸をなで
ている人たちも多い。▼ところで現在



田圃ではヒエ引きが
盛んに行なわれ引か
れたヒエが道ぶちや
川辺りにそのまま放
置され勝ちである。
せっかくのヒエ引き

もこれではなんのた
めのヒエ引きかわかったものではな
い。土中で七年は生存するといわれ
るヒエの実を、一カ所に集めたまま
にすることは、どう考えても馬鹿げ
た話だ。毎年おなじことのくりかえ
しももうあきてきた。ことしからい
やいまずぐから、焼き捨てることに
したいものだ、それを確実に、勵行
さすため、引き捨にしたものにな
らなかの質問を決めてはどうか。